



高校生による自作・自演の表現スキルを磨く公演会を開催
—公演制作・運営を通して協働スキル、人間力を養う—

追手門学院高等学校（大阪府茨木市、校長：原田 哲次）は、演劇やダンス等の表現活動を活用したコミュニケーション教育により「人と人とのつながりを生み出すことができる人材」の育成を目指す「表現コミュニケーションコース」を全国に先駆けて2014年に開設しています。2年生では自分で作品を創作して観客の前で披露する公演会を企画しており、今年度の公演会を12月14日から4日間の日程で開催します。

表現コミュニケーションコースでは、1年生で表現活動を通じて「自身と向き合う」ことを目的とする自画像公演を実施し、2年生では自身との向きあいから「他者との関りの必要性を捉える」ことを目指す今回のアトリエ公演へと発展します。今回の公演では、これまで授業において培った表現の基礎力を基に、作品の創作をすることで表現の幅を広げます。また、一般にも公開することで、観客の反応から自身の表現に対するフィードバックを得て、さらなる表現力、人間力の向上を図ります。

報道関係の皆様におかれましては、この公演当日の様態を取材いただければ幸いです。



1. 公演名：アトリエ公演「極北の向こう側」

2. スケジュール：

12月14日（木）16：00（学内公開）

12月15日（金）16：40（学内公開）

12月16日（土）14：00（一般公開）

12月17日（日）14：00（一般公開）

※入場無料、要予約

3. 出演：追手門学院高等学校 表現コミュニケーションコース2年生 20名(男子3名/女子17名)

4. 会場：追手門学院高等学校 表現演習室（大阪府茨木市西安威2-1-15）

5. 構成・演出：わたなべなおこ

◇プロフィール

あなざーわーくす主宰、あなざ事情団メンバー。

1974年生まれ、神戸大学発達科学部卒業、中国・中央戯劇学院舞台演出学科修了。

2000年、あなざーわーくすを設立。観客参加型の『レクリエーション演劇』を独自に開発し、観客と俳優の間のコミュニケーションを軸に展開するユニークなスタイルで演出活動を行っている。

追手門学院高等学校【表現コミュニケーションコース】とは

これまで日本の学校教育が取り組んでこなかった「コミュニケーション力＝人間関係形成力」を身体表現を通じた授業で学ぶ先進的な教育プログラム。

表現コミュニケーションコースホームページ：<http://otemon-course-hyogen.jimdo.com/>

この資料の配付先：大阪科学大学記者クラブ、北摂記者クラブ等

【発行元】

追手門学院 広報課

TEL：072-641-9590 足立・谷ノ内